

# よこはま2002

Vol. 5

2004.秋号

## NEWS

発行：2004.11.20.

2005年1月9日（日）／10（月・祝）

### 第1回ピアノパラリンピック in Japan ボランティア募集開始！

身体障害を持ったベートーベン、ビトゲンシュタイン、宮城道夫は私たちに素晴らしい音楽の遺産を残してくれました。ピアノパラリンピックは、世界中の障害のある人に豊かな音楽をピアノを通じて表現してもらい、その感動を皆で分かち合おうという音楽の祭典です。この世界初めての試みが2005年1月9日、10日「みなとみらいホール小ホール」で行なわれます。神奈川県知事や横浜市長等の協力も得て、日本障害者ピアノ指導者研究会会長の迫田時雄氏を委員長とする実行委員会によって開催されるものです。海外14ヶ国から21名、国内から74名、合計95名の演奏者が集まります。さらに、海外からは審査員として10名（7ヶ国）が参加の予定。聴衆は両日とも400名をこえる見込みです。私たちは横浜市プロモーション事業推進本部を通じて支援の要請を受け、ボランティアとして演奏者や介助者、また必要に応じて審査員のための通訳、会場への誘導案内を行います。皆さんの参加をお待ちしています。なお、世話人会ではサブグループを立ち上げて準備中で、駅から会場へのバリアーフリールートの下見や介助心得の勉強なども計画中。このサブグループへの出席、協力についてもよろしく願います。※**ボランティア募集の詳細は、同封の募集案内をご覧ください。**

日本障害者ピアノ指導者研究会ホームページ <http://homepage3.nifty.com/IPD/index.htm>



### 受講者募集! 救命講習会に参加しませんか?

ワールドカップ・ボランティアのとき講習を受けた方も大勢いると思いますが、あれからもうじき3年になろうとしています。講習修了証（カード）にも記載がありますように、「3年毎に講習を受けてください」とのことです。私達がいろいろなボランティア活動を行うにあたって、救命の知識は非常に大切です。よこはま2002では救命講習会を以下のように企画致しましたので、みなさん奮ってご参加ください。

日時：2005年1月23日（日）9：30～12：30 場所：中消防署（最寄駅：市営地下鉄伊勢佐木長者町駅）

申込方法：同封の申込み用紙をご利用ください。

※講習内容は、W杯の時と同じ「普通救命3時間コース」で、終了時には前回の修了証の更新が可能。参加費は無料です。

### 僕らの思い ドイツへ届けよう

#### ～2002 FIFAワールドカップ ボランティア経験者の体験談を募集します～

元JAWOCボランティアの浅見圭一さんが立ち上げたプロジェクトです。あれから2年、試合こそ観ることはできなかったものの、スタジアムの内外で選手たちと、そして観客のみなさんと共有してきたものは、まさにかけがえのない経験であったと思います。私たちが経験してきたことを、ドイツ大会でボランティアを経験する方に伝え、日韓両国のワールドカップボランティア体験を将来のために記録として残しましょう。よこはま2002でもこのプロジェクトに賛同し、皆様からの体験談を募集します。原稿を事務局宛に送ってください。Eメールでも構いません。みなさんからいただいた体験談は事務局でとりまとめたのち、浅見さんへお渡しする予定です。（第1回締め切り2005年1月末日）

#### 【どんなことを書けばよいか?】

- ワールドカップ大会のボランティアを通じて得た経験であれば、どんなものでも構いません。成功例はもちろんのこと、失敗例も立派な経験のひとつです。
- 氏名（匿名でも可）、W杯の時の年齢、性別、地区、担当部門等を必ず記載してください。（例／新横浜駅前で〇〇語通訳、競技場周辺で案内誘導・美化など）
- 体験談にはタイトルをつけ、文字数は200～400字でお願い致します。

【活用方法】みなさんからいただいた体験談等は、下記の形で活用することを検討しています。

- Webサイトへの掲載：Webサイトを開設し、日本語、韓国語、英語（もしできるのならばドイツ語）にて体験談等を掲載します。また、体験談をお寄せいただく際の手段としても活用します。
- CD-ROM化：ある程度数がまとまった段階でCD-ROM化し、FIFA、ドイツワールドカップ組織委員会、日本サッカー協会、大韓サッカー協会、Jリーグ、Kリーグの各クラブ、開催都市、キャンプ地の自治体に送る予定です。

【注意事項】①いただいた原稿は返却できません。②編集の際、断りなく文章を改訂させていただくことがありますのでご了承ください。③ドイツ語、韓国語の翻訳にご協力いただける方は、その旨ご記入ください。

※よこはま2002の会員以外の方にも、ぜひこのプロジェクトについてお伝えください。

# 新横浜

# パフォーマンス2004

新横浜のお祭りを、  
よこはま2002がバックアップ!

新横浜パフォーマンスは新横浜のお祭りで、ボランティアとして参加しても、遊びに来てても実に多彩で楽しいイベントです。今年は、10月2日(土)3日(日)の2日間、横浜開港150周年を記念して、Surpriseをテーマに3つの会場でさまざまなイベントが繰り広げられました。初日は真夏の暑さ、翌日は終日の雨と、天気には恵まれませんでしたが、総勢36万人が来場し、大いににぎわいました。新横浜駅前会場では「JAPAN開国祭」、横浜国際総合競技場では「アメリカングラフィティフェスタ」と銘打ったさまざまなイベントが目白押し、また2会場を結ぶレンガ通りは歩行者天国となり、ストリートパフォーマンスなどが行われました。今回の目玉はなんとと言っても最後のクレージー・ケン・バンドの生ライブ!雨にもかかわらず、たくさんの方が残り、楽しく盛り上がり、予定時間をオーバーしてアンコールの連発でした。また、飲食店や販売なども実に多くのブースが出店、とくに名物「鴨まん」は絶品でした。よこはま2002からは2日間で総勢85名(延べ120名)が活動し、案内、誘導、美化、NFLエクスペリエンスなどを担当、それぞれの会場で大活躍しました。各会場のリーダーからのレポートをごらんください。

## <レンガ通り歩行者天国> 野崎美智江 リーダー

ボランティアは交差点での誘導を担当しました。通行止めにもかかわらず侵入してくる車両が多く、ドライバーから苦情を言われて困った方もいました。せっかく歩行者天国になっているのに、駅前からレンガ通りへの人の流れが少なく、ストリートパフォーマンスにも足を止める人が少なかったのが残念です。人力車(無料)を引く大学生たちが子供たちに大人気で、大きな声をはりあげ、お祭りらしさを盛り上げていました。レンガ通りには出演者の控え室用のテントがあったため、ボランティアも休憩場所として使用できたのがとても助かりました。活動時間も夕方までだったので比較的楽だったと思います。

## <新横浜駅前会場> 村田博 リーダー

新横浜駅の表玄関の軒先2ヶ所に机を並べパンフレットを積んでボランティア2人1組で案内所を開いた。駅を出入する人たちに声をかけてパンフレットを手渡す。初めはやや恥ずかしくて声が出なかつたが慣れるにつれて声の調子もよくなって来る。お客様からはどんな質問が飛び出すかわからない。イベントの行なわれる場所と時刻、ショッピングラリーの応募方法、競技場やラーメン博物館への道順から、お祭とは関係のない、アリーナ、ホテル、ATM、花屋、斎場、ヨドバシカメラ、羽田行きバス停まで。わからないことは、駅や本部や観光案内所に教えてもらってだんだん自信がついてくる。案内板を眺めている人にも積極的に声をかけて案内に務めた。隣りでお嬢さんがPR用の地図入り下敷の配布を始めた。お蔭で私たちのパンフまでどんどんさばけるといふ思わぬ波及効果に喜んだ。2日目は雨でイベントの中止や変更があり、その決定が遅れたのでお客様への対応に苦労した。同じく駅前では清掃ボランティアが朝から夜遅くまで日照りの中、雨の中で活動を行ない、大会の成功を陰で支えた。いろんな苦労があったが、来場者の喜んでくれる様子を見ると来年もボランティアとして参加したいというのがみんなの共通の思いであった。駅や開催本部のボランティアにたいする心配りは嬉しかった。

## ボランティアの皆様へ ~Field of Dreams!~

新横浜パフォーマンス実行委員長 井芹一郎



ペリー提督のコスチュームで挨拶する井芹実行委員長。

新横浜パフォーマンス2004へ、多大なるご協力頂きありがとうございます。皆様にご協力を頂いたおかげで、好天過ぎる炎天下、降りすぎる荒雨天と非常にメリハリが効きすぎた両日にもかかわらず、無事にイベントを終える事ができました。皆様の積極的な動きには、ただただ頭が下がるばかりでした。孫に近い子供達(失礼)とのNFLエクスペリエンスや、ゴミの回収といった過酷なお仕事をお願いした中で、もくもくと動かれていた姿には感謝しております。若い実行委員のメンバー達にも良いお手本と映ったのではないかと思います。活動後に体調を崩された方がいらっしゃったのではないのでしょうか。これからも私達は、「Field of Dreams」をモットーに新横浜というフィールドで夢を追いつづけていきます。この地で皆さんと共に活動が続けて、この地域と競技場を活性化していけたらと願っております。来年のイベントも盛り上げていきましょう。今後とも宜しくお願い致します。

## スペシャルオリンピックス トーチランレポート 新横浜パフォーマンス 佐藤誠リーダー

新横浜パフォーマンスのイベントのひとつとして、10月2日にスペシャルオリンピックス(知的発達障害者のオリンピック)のトーチラン(聖火リレー)が行われ、駅前ステージから競技場ステージまでの約2.5kmを5名の障害者が走りました。目玉は何といってもアンカーの伴走をしたFマリノスの岡田監督で、翌日の朝日新聞に写真入の記事が載りました。トーチランナーと岡田監督の後にはアメリカンで統一された競技場の雰囲気盛り上げるために、山手にある横浜インターナショナルスクールの小学生38名がサポートランナーとして参加しました。この子供たちの整理に駆り出されたお蔭で、僕もちゃっかりこの写真の中に写っています。この時、駅前ステージで前のプログラムが延びて、トーチランの出発が遅れてしまいました。炎天下の歩道上で子供たちは1時間近く待つ羽目になり、通行人の邪魔にならず、できるだけ日陰に入れるようにと誘導する一方、「あのスタジアムは何か知っている?」、「何人入れると思う?」などとクイズを出し、退屈させないように努めました。文句を言う子もなく羨の厳しさを感じました。実は岡田監督も次のスケジュールが迫っていたのですが、サッカーをやっている男の子と話をするなど、苛立ちを顔に出さずにこちらをさすがにプロ。ゴールした競技場ステージに作られた聖火台に点火した後で、「スポーツは選手だけのものではなく、競技を支える人や見に来る人、皆のもの」とのスピーチは来場者の心に残ったことでしょう。トーチランナーの女の子は、来年2月に長野で行われるスペシャルオリンピックスでフィギュアスケートに出場する西田映美ちゃん。すっかり新横浜町内会の人気者になってしまい、皆で応援に行くことになりました。僕も行こうかな。



これが新聞に掲載された写真です。

# 新横浜パフォーマンス2004



雨天だった3日、清掃を担当したみなさん。お疲れさま!

## <横浜国際総合競技場開催本部> 政藤英義 リーダー

開催本部、案内所（東ゲートの総合案内所および南西ゲート）にはそれぞれテントが張られ、2日の日除けや3日の風雨防除に大いに役に立ち、天候への対応については他の活動部署と比較しても非常に恵まれていた。開催本部の案内はショッピングラリーの受付とプレゼントの交換を担当。2日は好天候にも恵まれて訪れるお客さんも多く、2人シフトでは休憩もなかなかとれない状態だった。そのため3日は増員体制としたが、残念ながら雨のため効果は半減し、訪れるお客少なくプレゼントの賞品も大量に残ったようで、午後には降りしきる雨の中、総出で「馬車道アイス」と「ジェリービーンズ」を大盤振舞でお客さんにお配りした。総合案内所はカモン・ドッグ販売所に隣接し、言ってみればメイン会場への銀座通りに設置されていたため、終日、お客さんとの接触があって有意義な活動であったと思う。南ゲート及び西ゲート案内所は当初の予定が変更され、2日は南ゲートを、また3日は西ゲートを我々のみで担当したが、殆どがフリーマーケット目当てのお客さんの案内で終始した。しかし、フリーマーケットも重要なイベントの一つであることを考えれば有意義な活動であり、また、活動時間も17時で終了したので適当であったと思う。場内清掃は長時間の活動となり、肉体的にはかなり負担が大きかったと思われる。特に3日はカッパ着用のうえに雨によって重さも倍になったゴミの処理と十分な休憩場所も確保出来なかったことで、疲労も増加した。今後の検討課題としたい。

## <NFLエクスペリエンス> 西崎浩之 リーダー

「NFLエクスペリエンス」では、アメリカンフットボールにちなんだスポーツアトラクションの運営をしました。2日は朝から日差しが強く、なんとか熱中症患者を出すまいとシフト変更し奔走。しかしながら、ボランティアのみなさんはお客さんと一緒にアトラクションを楽しんでいて、全体として大いに盛り上がり、「やっぱり自分たちが楽しいと思わなきゃ、お客さんも楽しくない」と実感した活動となりました。当初は5時終了予定でしたが、イベントの管理者から時間延長を頼まれ18時30分頃まで活動。長時間立ちっぱなしの肉体労働で、器具の片付けまで手伝い、かなりハードでした。その他にも全体的に主催者側との「相談」「議論」が不足していたため、情報がないうまに動かなければならない事や急な変更点が多く、今後への課題も残りました。3日は雨となり、イベントは中止に。弁当の配給を待って、一階のコンコースで、車座になって昼食会。午後の試合待ちのマリノスサポーターに混じり、楽しくごはんをたべました。その後は主催者側のご厚意によりマリノス戦を観戦。雨で湿るピッチを、ボランティアの暖かい声で盛り上げました。



子供たちに人気だったNFLエクスペリエンス。

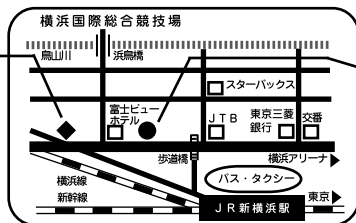
## サッカーグッズショップ4店 よこはま2002会員限定10%割引!

井芹実行委員長のご厚意により、下記4店のサッカーグッズショップにてよこはま2002会員特別割引を実施。このニュースレター5号をお買物の際に提示すれば10%割引になります。※割引有効期限2004年12月末日まで ※値引きセール品など一部割引除外品あり



### 港北区新横浜2-2-15バレイビルB1

- ◆スクデット (ワールドサッカーグッズ)  
Tel 045-470-1455
- ◆カルチャトーレ  
(シューズならびにトレーニングウェア)  
Tel 045-470-1477



### 港北区新横浜2-319ミネタビルB1

- トリコポイント (横浜Fマリノスグッズ)  
Tel 045-476-2718
- ブルーズ (日本代表グッズ)  
Tel 045-470-5818

<http://www.scudetto.co.jp/trico/> (4店へのリンクあり)

◎営業時間は全店とも11:00~20:00

## トヨタカップ2004 ただいま自主活動の準備中

来年から横浜国際総合競技場は日産スタジアムと名称が変わります。また、ヨーロッパ王者対南米王者の試合として行われてきたトヨタカップは今年で24年の幕を閉じ、来年からは6大陸による世界クラブ選手権が行われます。よこはま2002では、今年で最後になるトヨタカップを、新横浜駅前に案内テントを設置し自主活動でサポートします。応募はすでに締め切りしましたが当日参加もOKです。みなさん、どうぞお楽しみに。

### ボランティア活動内容

- 大会名：トヨタ ヨーロッパ/サウスアメリカカップ 2004  
(横浜国際総合競技場)  
対戦チーム：FCポルト (ポルトガル) VS  
オンセ・カルダス (コロンビア)  
<日時> 2004年12月12日 (日) 13:00~19:30 (予定)  
※キックオフは19:05  
<活動場所> 新横浜駅周辺 (競技場内の活動はありません)

## 各国大使館対抗 フットサル大会に参加

10月31日(日)に横浜市平沼記念体育館で開催された「各国大使館対抗フットサル大会」に、よこはま2002と横浜国際競技場ボランティアサッカー部「Vジャン」との合同チームで参加しました。前日の予選を勝ち抜いた強豪2チームと対戦する2次リーグから参加。第1戦のロシア大使館戦では、0-9の敗戦。第2戦のフィンランド大使館戦でも0-9。しかし一矢報いてやろうと必死に戦った結果、大会本部より「フェアプレー賞」を受賞しました。また、大会中には各国大使館の方と親睦が図られ、今後開催されるピアノパラリンピックのPRを行ったところ、とても興味深く関心を持ってくださいました。また、次の機会には、初勝利目指してがんばりますので、応援よろしくお願ひします。

# 楽しかった！嬉しかった！面白かった！の声、ぞくぞく。 エコ・ウォーカー2004 IN JAPAN 横浜大会

爽やかなウォーキング日和となった10月24日（日）、約4,000人のウォーカーが参加した「エコ・ウォーカー2004 IN JAPAN 横浜大会」が開かれ、よこはま2002から73名がボランティアとして活動。コース上の「案内誘導」と「観光ガイド」によるツアーを行いました。当会でこの大会を支援するのは今年で2回目。これまでの経験をもとに、「案内誘導」はウォーカーに楽しんでもらえるように声をかけたり、「観光ガイド」は約80名のツアー参加者に横浜の歴史や面白いエピソードを披露したり、いろいろ工夫。実りあるボランティア活動になり、主催のエコ・ウォーカー実行委員会からもたいへん好評でした。



横浜の魅力をウォーカーにアピールしました。

## 案内誘導・山下公園 石川恵二さん

「とにかく積極的に参加者のみなさんへ挨拶しました。たくさんの方があって楽しかったですね。年配の方に「お元気ですね！」と声をかけると「83歳だよ！」と返ってきたり、「初めて横浜に来た」と笑顔で言ってお手紙でOKサインをしてくれた男性がいたり、「ご苦労さま」と言いながら焼き栗を下さった方もいて、うれしい経験でした。ポイントのリーダーだったのでお弁当の配布などで走り回りましたが、それも含めて満足感がありました。」

## 案内誘導・港の見える丘公園 小鍛冶上司さん

「声が嘎れるほど、ずっと参加者に声をかけていました。「こんにちは」と言うと「ご苦労さま」と返事があるので、「ありがとう！」と返してコミュニケーション。中には、この1年にこんな事があった…と身の上話をする方もいて面白かったですね。反省点は、ポイント周辺の地理をもっと知っておけば良かったという事。ゴミを道に捨てる方がいたので急遽ゴミ袋を用意しましたが、グループで臨機応変に対応できたのは良かったと思います。」

## 活動報告

## 観光ガイド・2班 丹野祥子さん

「ツアー参加者の中に、仕事の研修で横浜に来て昨年もエコ・ウォーカーで歩いたという秋田の方がいて、「去年は1人でつまらなかったけど今年は面白かった」と喜んでくれました。参加者の中にはもっと速く歩きたいと言う方もいましたが、「横浜を楽しむイベントなので」と説明しました。中華街で肉まんを買って、みんなで歩きながら食べた昼食は好評でしたよ。ガイドするのは楽しいですね。次回もぜひやりたいです。」

## 観光ガイド・6班 井上勝一さん

「何よりだったのは「ツアーに参加して良かった！」と参加者に言っていただけた事です。好評だった観光ポイントは横浜開港資料館とジェラルルの水屋敷。横浜在住の方でも、普段近くを通って知らなかった所もあったようで楽しんでくれました。昼食はみなさんがお弁当持参だったので港の見える丘公園で食べました。観光ガイドの経験は今回で2回目。回数を重ねる度にコツも身につけて、いいガイドが出来るようになると思います。」

## ご結婚おめでとうございます 会員同士のカップル第1号が誕生！

このたび、会員の今野健一さんと菅原恵美子さんが10月2日にめでたく結婚式を挙げ、11月6日に披露パーティーが行われました。おめでとうございます。お二人の馴れ初めは、昨年10月に行われたエコ・ウォーカーのボランティア活動にお二人揃って参加されたのがきっかけだそうです。活動中は別グループだったため特に顔を合わせる事もなく、活動の終わり頃に山下公園で集合写真を撮った時お互いを見掛けた程度だったとか。（でも、偶然にもちゃんと並んで写っていましたよ。）その後、懇親会に出席した二人ですが、活動後の心地良く飲んだお酒でほろ酔い気分の今野さんに「大丈夫ですか？」と恵美子さんが声を掛けたのが第1歩だったとの事です。昨年暮頃からお付き合いを始めて、お互いに結婚を意識したのは今年の初め頃に最終的に決めたのは春頃とおっしゃるお二人。これからもお二人でボランティア活動を続けたいとの事ですので、ぜひ時間を作って参加してください。バンザイ！



幸せいっぱいの結婚披露パーティーにて。

## お気軽に世話人会へどうぞ

見学はいつでもOK。  
ぜひオブザーバーとして  
ご意見をお聞かせください。

★次回以降日程：12月15日（水）  
1月20日（木）

★時間：19時～21時

★場所：横浜市市民活動  
支援センター  
4階研修室（桜木町）

※見学をご希望の方はあらかじめ  
下記連絡先までご連絡ください。

## 編集後記

今年の後半は、新横浜パフォーマンス、エコ・ウォーカー、トヨタカップ、ピアノパラリンピックの活動が次々決まり、世話人会はその準備と実施でテンテコ舞い。でも、それだけに充実感や面白さもたくさん味わっています。世話人会では、まだまだ人手が足りません。ぜひ、気軽な気持ちで世話人会や活動の事前準備にご参加ください。世話人会終了後の2次会も、ちょっとした楽しみです。なかなかエキサイティングですよ。

発行 / 2002ワールドカップ横浜ボランティアの会

〒231-0062 横浜市中区桜木町1-1-56

みなとみらい21クリーンセンター5F 横浜市市民活動支援センター気付 レターケース番号044

FAX (045) 223-2888 レターケース番号044 専用電話はありませんのでご了承ください

[E-mailお問合せ] fifa2002wcyokohama@yahoo.co.jp [URL] http://wcyokohamavolunteers.hp.infoseek.co.jp/

よこはま2002